

夕刊 警城時報

行發日七
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金拾圓
廣告料一行十文字五十五錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

全市舉げて自肅氣分

けふ事變二周年記念日

けふ支那事變二周年記念日を迎へて本市では戸毎に國旗を掲揚、市民は黎明に起き出で、皇太神宮を遙拜、皇座の翊衛を祈り申し上げ、併せて灼熱の外地に遠征の執を執る皇軍に對し感謝、護國の華と散つた英靈に對し慰靈の黙禱を捧げた、市主催の記念式は別項の通り公會堂で舉行したほか市内各學校、工場、會社でもそれぞれ記念式を行ひ、また料理屋、藝妓屋、飲食店、遊藝場など歡樂場もこの日は一齊に休業自肅し縣社への參拜、英靈參拜、講話をきくなど全市をあげて意義深い一日を送つた

會衆千三百名(市主催)

平市の事變二周年記念式は午前時十五分から抗務所前で記念式九時十分から公會堂で舉行、各典を舉行、夜は午後六時から自官公衛長、各種團體、國婦、愛治會館で戦死遺族、應召家族婦、男女青年團員、一般有志千、慰安の吹奏會を開催した、從業員三百名出席、定刻伊藤助役團員の各家庭ではこの日を酒無し辭に次いで國歌斉唱、宮城遙拜日とし、また晝食は家庭でも食更に戦死軍人に對し一入深く感嘆でもすべし日丸辨當とした向坑務所、郷軍入山分會、國婦入山分會合同で慰問袋三百個を作り郷土出身將兵へ贈り從業員各團體は慰問文を發送した

各學校の催し

第三校は早起會
けふの記念日に市内各學校ではいづれも市主催記念式と同様の催しを行つた
▲警中一兩縣社、忠魂碑參拜
▲警女一縣社、忠魂碑參拜後市内を愛國行進
▲市事變二周年記念式、十六ミ、湯木町入山探炭では此日午前七

入山探炭催し

支那事變第十二次勳功行賞は六月二十日蘭州の大空襲中戦死日發表されたが石城郡下では水烈な自爆をとけた勇士で空爆行戸村合津喜四男、湯木町安齋齋百二十數回の記録を持つ荒鷲で秋の兩英靈がこの輝やく行賞にあつた、市内町町末廣比佐三郎氏夫人年子さん(三〇)は故准尉の實姉である

蘭州の華合津准尉

功六旭七の行賞に輝く

支那事變第十二次勳功行賞は六月二十日蘭州の大空襲中戦死日發表されたが石城郡下では水烈な自爆をとけた勇士で空爆行戸村合津喜四男、湯木町安齋齋百二十數回の記録を持つ荒鷲で秋の兩英靈がこの輝やく行賞にあつた、市内町町末廣比佐三郎氏夫人年子さん(三〇)は故准尉の實姉である

名譽の家

一名以上戦死
郡下で三家庭
軍人援護會では日清役以來の戦

戦病死に誤報

大森氏は元氣である

市内南町出身醫師大森氏が戦手紙には「けふ入院するが元氣病死をとげた旨が一部に傳へられたから安心するやうに」とあり病状は大したことはないらしいとされ病を押して軍務に服するうち病勢や、鼻進したので去る三日廣島市陸軍病院第一分院五十七號に入院目下加療中である旨、一昨五日大森氏から留守宅へ便りがあり戦病死は全く誤報であることが判つた、三日付の

青年團結成式

事變記念日のけふ舉行

新生の平市青年團結成式は事變青年團改組に關する君島知事告二周年記念の意義深き七日午前論調話劇、團長挨拶あり、青年男女青年團員八百名、定べ萬歳を三唱して結成式を終り刻千葉西郡青年團長開辭に次ぎ團員一同はブラスバンドを先頭に國歌斉唱、宮城遙拜、皇軍に對する感謝黙禱
鐵山團長旨ならびに秩父官殿に參拜、皇軍の武運長久を祈願下より賜はりたる御言葉を捧讀して解散

満支視察の旅

關内正一

私は先づ「郷土出身兵で病氣してゐる人はありませんか」と聞いた、「一人もないです」と答へて呉れた、集まらなかつた人達は日曜日ので皆外出したと云ふ、私は心ばかりの慰問のしるしと兩縣社神前に供へた扇子を「これに記念撮影をして貰つた。郷土の御両親の方々、御兄弟

各分團長決定

△東部一三目山小平、四丁目村泰平、五丁目石川幸男、六、七丁目久野誠助、堤ノ内深谷猪之吉、鎌田高田清二、月見町久田隆美、新川町松崎長治右門、南町坂野幸市、大町仲井勇、大工町渡邊敏、白銀町海野義雄、北白銀町馬場武太郎、十七區松崎忠元、△北部一上平窪草野一郎、中平窪谷松平、下平窪川角由一、中窪四波小野武、大窪窪之内松崎軍二郎

四倉へ二團體

四倉へまた遊覽團體が来る、田松崎長治右門、南町坂野幸市、村松根根小學校児童、青年團員五百四十名は九日午前七時二十分久之濱着、で來濱、午後三時市東紡績業員第四班八百二十名は十三日午前七時二十二分久之濱着で來濱し一日海遊、午後三時二十三分四倉發で歸郷の豫めである

赤堀氏出品

平市出身定である
彫刻家赤堀信平氏は六日から東京府美術館で開催中の聖戰美術展會に上海軍報部から依頼を受けて制作した「聖戰下の觀兵式を拜して」を出品

酒中毒で溢死

好間村北好間字堂田、佐藤喜四江(六四)さんは五日朝九時ごろ自宅で溢死をとげた、アルコール中毒を患つた結果と判明

仲裁人を殴る

内郷村大字宮字金坂理髮業荒川正夫(四一)は去月二十六日夜飲酒の末附近の者と喧嘩を始めたので同字若器商、衛生弘さん

天氣豫報

今晩は南西の風時たり曇つたり時々驟雨
明日は南西の風時後曇

平市人事録

○出生 古銀治町一八當時湯木町字並井飯塚松吉さん二女京子さん、五丁目四〇當時好間村上好間字大畑元水大吉さん二男吉太郎君、長崎町五六當時茨城縣助川町柳井治治さん五女高子さん

市内警察

で車中の人とする、新ちゃんも矢張り九時で横道河子へ向ふ。牡丹江にしろ、チャムスにしろ交通機關は總て洋車(人力車)馬車と小數のバスに依るの外はない、自動車は官廳と小數富家の自用以外にはない、従つて鈴木氏が一日提供して呉れた自動車の高價さや有難味とは得難き贈物であつたことを特記し衷心感謝の意を表します。
(二十七日チャムス瀋陽村附盛源長古内氏宅にて)

野澤武藏

「店員道場」への關心

平市の「店員道場」開設に關し、過般市役所増田産業課長長谷川視學、商工會猪狩庄平氏等が関御井嶽に登山、會場を下檢分し念々二十日頃から二週間に亘つて一夜講習會を開設することに決定、縣當局に講師派遣方を申請した。

「店員道場」の開設は前にもなく、商店法實施の趣意に基き、商店員の集體的訓練に依つて休位を向上、智識の涵養を圖ることを目的とするものであつて、道場として東北屈指の「靈場關御井嶽」を選ばれたことは、關係脳部間に於ける苦心研究の賜である。

縣の指導に基き今回の「店員道場」開設問題に關し、或る店主の意見を引用、各異つた營業に従事する店員を共同に宿泊せしめ、相互の待遇問題や不平を吐露し合ふことに依つて主人への不満を爆發させ、誤つた判断の下に轉向せんとする者が續出したなら、と消極的な議論を述べたことがある、當時縣の計劃は一回三日間の予定であつたと記憶するが、今度の計劃は僅か一夜の講習であり、縣、市、商工會が一体と成つて監督も嚴に、規律ある訓練を行ふものであるから、某店主の抱く前述の議論は全然杞憂に過ぎないであらう。

新文具御案内
マルトモ書店入荷品
書類保存用
タツチフワ井ル ¥85
本品の特長
1、穴も穿けず紐も使はず完全に綴れますから大切な書類に疵が付きませぬ。
2、操作が簡単で一枚でも、澤山の書類でも正しく同様の力で綴れ右綴左綴も御自由です。
3、完全なるペネを使用し居りますから永久に同じ力で御使用になれます。
書類保存の王座、タツチフワ井ルを是非御使用願ひ上げます、きつと御満足を得るご存じます。

萬邦ペン
國産の最高峰
事務用ペン先として之れ程のもの他にありません、書き味はパーミンガムの本場品に勝るとも劣らず、文藝春秋、中央公論、其他の一流雑誌に毎號廣告、信用絶大です。

魁文堂
ウエル萬年筆
ムツリニペン
ゼネラルカーボン紙
優勝印高級ソロバン
ドンコ帳簿
デリカ人名簿
代理店

住宅地分譲
都心に近き保健境
平第三小學校
東北方約二萬坪
大小各口の御相談に應ず
金より物の時代
土地は最も安全
御希望の方は市内田町一九道沼方
電話七八七番へお問合せ下さい

体位向上の夏！
新舞子、四倉の海は招くよ
海岸行は快適な木炭バスで
新型木炭「ガソリン消費規正以來皆様に多大バス購入」の御不便をおかけ致しましたが、此の度最新式大型木炭バス二輛を購入、運轉回數を増加して夏の海への輸送陣容を整へました。体位増進の夏、海水浴はぜひ國策の木炭バスに乗つて！
平→四倉 往復券二割引 四十錢
（團休は特に御相談に應じます）
御案内 自動車停留所からの道程
★ピクニック、船遊びには日本百景
★新舞子、仁井田浦へ……約二丁
★海水浴には……四倉海水浴場へ……約一丁
★波立薬師、鰐ヶ淵海岸へ……約八丁
平市 四丁目
合名 平四倉乗合自動車
電話 四九〇番

内科
性病科
午前 宅診
午後 往診
四倉町本町
菅波醫院
電話 六三番
（入院室）
（新築中）

紳士の街に出よう
スマートなカンカン帽子
シックなバナマ帽子
何れも涼味百パーセント
それから婦人子供
アツパツパ
その他種々陳列
ツルヤ
電一四〇

腸胃内科
胃腸病科
花柳病科
泌尿器病科
皮膚病科
肛門病科
門專
院醫科腸胃村松
（番七〇一電）町南市平

婦人薬王 辨天湯
主治 子宮病・血の道・ヒステリー・産前産後の諸症・逆上・頭痛眩暈・手足腰の冷込み・こしげ・月經不順……等
調剤本舗 小野屋藥局
平・四丁目 電話百四十四番

外科科一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町 電話三五八番

鑑定
住宅家相の設計製圖
建築造作の時期撰定
見學旅行の道程相談
結婚縁組の性格鑑定
目的企業の成否豫斷
平市白銀町
石島陰陽館
電話 六五〇番

四倉の名産!!!
新鮮な魚と貝の罐詰
御土産に御進物に
優美な化粧箱詰を
是非御用命……を
四倉町
佐藤仲商店
電話 四十一番

タンス・鏡臺
御婚禮調度品を
取揃へました
是非
和久井屋へ
御越下さる
平市一丁目 電話四〇五番

小兒科
志賀醫院
平市南町
（入院ノ需ニ應ズ）
電話 一六二番